



# 座談会

BR膵癌は、その臨床病理学的特徴として低いR0率と高いリンパ節転移率が挙げられる病態である。2016年に改訂された膵癌取り扱い規約第7版では新たに切除可能性分類が提唱され、画像所見からの進展度診断が提案されるなど、BR膵癌について広く理解を得やすい環境が整備された。しかしながらBR膵癌に対する標準治療はいまだ定まっておらず、術前・術後補助療法や画像・腫瘍マーカーの推移からみた手術適否の評価、切除術式の選択など、明らかにすべき問題は多い。今回は、膵臓外科医、放射線科医、腫瘍内科医によりBR膵癌治療成績の向上を目指した討論をいただいた。